

霧にご注意を！！

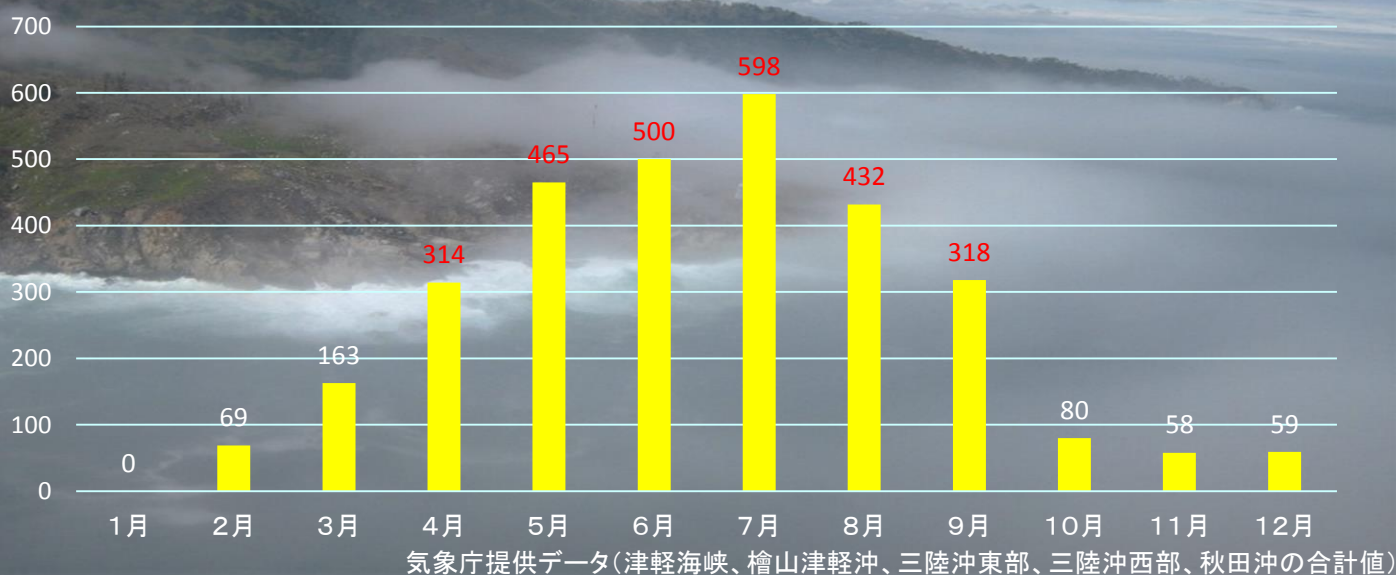
三陸地方沿岸部では、春から夏にかけて霧が多く発生します。霧の中での航行は、自船や他船の位置が分からなくなり、衝突や乗揚げの危険性が高まります。



事故事例

平成29年4月9日、遊漁中のプレジャーボートが濃霧により自船の位置が分からなくなり、救助要請する事案が発生しました。当時の視程は約20メートルで、「濃霧注意報」が発表されていました。

平成28年 東北地方における海上濃霧警報の発表回数(月別)



第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1
(代表) 022-363-0111
(直通) 022-365-9609

🔍 マリレよろず 検索

➤ 海上において霧が発生する条件とは・・・？

日本付近では、春から夏にかけて南からの暖かい風が吹きはじめます。三陸沿岸の冷たい海の上に、この暖かく湿った空気が渡ってくると、水蒸気が冷やされて水滴に変わり、霧となります。



➤ 霧発生時の注意点

◎見張りの強化と安全な速力

濃霧による視界不良時には、見張りの人員を増やしたり、レーダー等を用いて周囲の状況を確認するとともに、速力を落とし、早めの避航を心がけましょう。



◎霧発生時の出港の自粛

特にレーダーの無い船では、霧が発生している時や濃霧注意報が発表されている時は、出港を避けましょう。

◎「海の安全情報」等により現在位置を確認

海上保安庁が情報提供している「海の安全情報」サイトを活用して、霧などの気象情報を入手するとともに、自分のいる現在位置を随時確認しましょう。



東北地方では、平成27年以降、霧を原因とする海難は発生していません。

引き続き、安全運航に努め

霧海難3年連続“ゼロ”

を目指しましょう！！



マリレ情報よろず屋
～バックナンバーはこちら～

海の安全情報スマホ版サイト
(沿岸域情報提供システム)

